平成２９年度　国立大隅青少年自然の家　教育事業

体験の風をおこそう「ファミリーキャンプ⑬」

１　趣　　旨　　　クラフト活動及び伝統文化体験を通して家族の絆を深め，家族相互の交流を図る。

２　期　　日　　　平成３０年１月１３日（土）～１４日（日）　１泊２日

３　対 象 者　　　クラフト活動や伝統文化体験に興味のある家族

４　募集定員　　　１４家族６０人

５　参 加 者　　　５家族１８人

６　指 導 者　　　国立大隅青少年自然の家職員
ボランティア１人

７　日程と主な活動

１月１３日（土）	１月１４日（日）
14:00　受　付	6:00　起　床　着替え　荷物整理
14:30　出会いのつどい	7:30　朝　食
アイスブレイク	9:00　活　動「たこ揚げ」「外遊び」
15:00　活　動「家族でたこ作り」	※外遊びは草スキーを実施
18:00　夕　食	10:20　アンケート
19:00　入　浴	10:30　別れのつどい
20:00　活　動「ファミリンピック」	10:45　解　散
※親子対抗のペタンク	
21:00　「自由交歓」「家族間交流」	
22:00　消　灯	

８　事業運営上の配慮

（１）たこは，日本の伝統的な玩具であるが，最近の子供たちはたこ遊びする機会が非常に少なくなっている。また，たこを自分で作った経験がある子供も少ないため，今回は，和紙と竹ひごを使ったたこを家族で協力して作るという活動を通して，家族の交流となる場を設定した。そして，その自作のたこを揚げる活動を通して，家族で日本の伝統的な遊びに触れる機会を設けた。

（２）出会いのつどいの後に，参加者全員が楽しめるジャンケンゲームを行い，緊張感がほぐれるように配慮した。

（３）ファミリンピックでは，親子対抗のペタンクを実施することで，その場の雰囲気が盛り上がるように工夫した。

９　参加者の感想

○　ビニールなどでなく，和紙で作った凧が破れずに思ったよりじょうぶで，空高く飛んでいるのを見て，とてもびっくりした。（子供）

○　もっとファミリーキャンプがあれば良いなあ，と思いました。とっても楽しかったです。（子供）

○　たまに遊ぶたこは，お店にある既製品しか使ったことがなかったので，手をかけて作る温かみのあるおもちゃの良さを家族で実感でき，楽しかったです。思い入れのあるおもちゃ，大切にしてくれそうです。（保護者）

○　子供に日頃体験させられない経験をさせてあげられるので，とても良い事業だと思います。（保護者）

10　成　　果

○　和紙と竹ひごを使ったたこ作りは，参加者全員が初めての体験だったが，けがや事故がなく，全家族が楽しみながら２枚のたこを作り上げることができた。

○　ファミリンピックでは，ペタンクを親子対抗で行ったことにより，その場が非常に盛り上がり歓声や応援の声が響いた。

○　２日目，無風の中でのたこ揚げとなったが，親子で走り回りながらたこ揚げを楽しむことができた。